

業 務 名

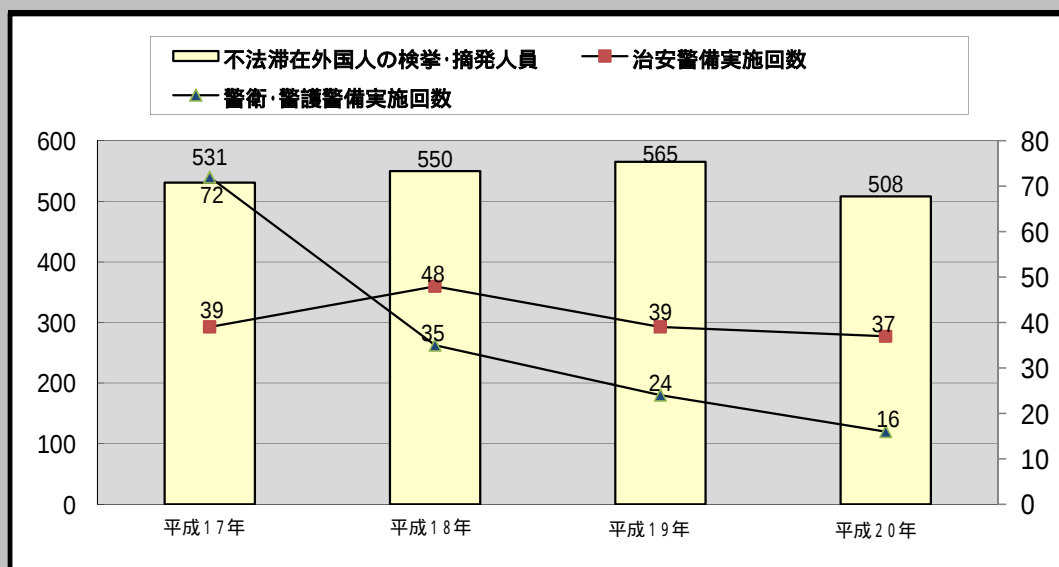
警備諸対策の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
不法滞在外国人の検挙・摘発人員	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	531	550	565	508	人
治安警備実施回数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	39	48	39	37	回
警衛・警護警備実施回数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	72	35	24	16	回
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位

「不法滞在外国人」には、資格外活動の外国人を含む。

「治安警備」とは、警備事件が発生するおそれがある場合等に行う部隊の運用を伴う総合的な警察活動をいう。



○業務の主なコスト

No	事 業 名	平成20年度事業費(千円)	平成21年度事業費(千円)
1	テロ等対策費	50,652	387
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		50,652	387

○平成20年の取組み

●入国管理局との連携を強化し、合同摘発を71回（前年対比＋15回）実施するなどして取締りを強化した結果、不法滞在外国人（資格外活動を含む。）508人を検挙・摘発したほか、不法就労助長等不法滞在を助長する犯罪の検挙を推進した。

●平成13年の米国での同時多発テロ以降、各国がテロ対策を強化しているものの、依然として世界各地でテロが続発している状況の下、7月の北海道洞爺湖サミットを始め国内各地でG8関係閣僚会議等が開催されたことに伴い、これまで以上に日本国内でテロが敢行されることが危惧されたことから、各種テロ関連情報の収集、テロの標的となり得る公共交通機関等に対する警戒活動等の警備諸対策を推進した。

●国内外の警備情勢を踏まえ、三重県内の国際港湾である四日市港・津港・尾鷲港において、入国管理局・海上保安本部・税関等関係機関と連携して、港湾保安委員会等の会合を開催するとともに、テロリストの不法入国等を想定した訓練を実施した。

●デモ行進等の公安条例申請を92件受理し、警察措置が必要な37件について、交通対策を始めとした治安警備実施を行った。特に、日本共産党演説会に対する右翼団体等の抗議活動については、不測の事案を想定した強力な警備部隊を編成し、治安警備実施に当たった。

●皇太子殿下の「第11回全国農業担い手サミット in みえ」御臨席に伴う行啓警衛警備においては、御身辺の安全を確保するとともに、歓送迎者の雑踏等による事故を防止したほか、県民生活への影響を最小限とする計画の策定等に配慮した。

●1月4日の福田内閣総理大臣ほか閣僚の伊勢神宮参拝に伴う警護警備を始め、各種行事等で来県した政党要人等に対する的確な警護警備を実施した。

○課題と平成21年の取組み

●入国管理局との連携による合同摘発等を引き続き強化し、不法滞在外国人の取締りを積極的に推進するほか、不法就労助長等不法滞在を助長する犯罪の検挙及び組織的かつ悪質な犯罪の取締りにも努める。

●イスラム過激派等による国際テロが世界各地で多発する中、我が国はテロの標的として名指しされているほか、平成22年には日本国内でAPEC（アジア太平洋経済協力会議）も開催される予定であることから、引き続き、国際テロを始めとする各種テロ関連情報の収集、公共交通機関等に対する警戒活動等の警備諸対策を推進する。

●国内外の警備情勢を踏まえた的確な警備実施に努めるとともに、不測の事案に備えた態勢の確立及び部隊対処能力の向上を図る。また、情勢に応じた的確な警衛・警護警備の推進にも努める。